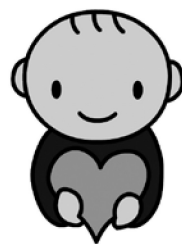


こころラボ

こころラボレーション



スクールサポーター
(臨床心理士)
小林 真理

を通じ合わせることで苦手。

②対人関係、社会性の障がい

アイコンタクト、顔の表情、身ぶりなどから人とやりとりすることが苦手、年齢相応の仲間作りをしようとなし、自分から楽しみ・興味・達成感をと分かち合おうとしない、場の雰囲気によめない、といったことがある。

③パターン化した行動や強いこだわり

先のことを想像することや変化が苦手で「いつも同じ」であることにこだわる(例えば登園や通学の道順が変わると嫌がる・くるくる回るものを見つけて安心するなど)、本人には無意味に思えてしまうような習慣がある、といったことなど。

【自閉症】

3つの大きな特徴として、3歳くらいまでに以下のようなことがみられます。

①言葉の発達・コミュニケーションの障がい

声が出ないわけでも耳が聞こえないわけでもないのに、会話が成り立たない、言ったことをそのまま繰り返してしまったり「オウム返し」がある、独り言を言っている、など話し言葉の遅れや欠如や「こころ遊びや物まね遊びができない、など意思

このようなことは、多かれ少なかれ誰でも時と場合や気分によって、あり得ることですが、自閉症の場合はこの特徴が「どの様な場面」でもあります。それにより、時には一緒に何かをすることが難しいことも生じてきます。彼らの特徴を

理解したうえで、「今は何をするといいか」「次にしてほしい行動」など「どうしたらいいか」をおだやかに繰り返し伝えていくことで、個人差はありますが徐々にできることが増えていきます。

早期発見・早期対応を心がけることで、成長の早い段階から特徴を理解した上手な声かけを行うことができます。できることが増えれば、「ご家族やまわりの方も嬉しいですし、ますます理解を深め良い声かけにつながっていくのではないのでしょうか。こういったことが心のコラボレーションの始まりになっていくのですね。

今回は、「高機能自閉症」についてふれていきます。

文 献

- 「子どもの精神医学ハンドブック」(株)日本評論社
- 「幼児期の発達障害に気づいて育てる完全ガイド」(株)講談社

第63回人権週間

21世紀は人権の世紀といわれていますが、テレビなどのメディアでは、いじめによる自殺や小さな子どもの虐待死など、暗くて悲しいニュースが流れ、インターネット上には心無い誹謗中傷が溢れています。こんな時代だからこそ、学校や家庭、地域のなかで人権の大切さについてみんなで語り合いたいです。

なお、12月は、昭和23年12月10日に国連で世界人権宣言が採択されたのを記念して、日本だけでなく世界中で人権思想の普及・高揚のための啓発活動が行われます。

「人権デー」(国連)

12月10日

「第63回人権週間」(法務省)

12月4日～12月10日

「人権について考える県民運動強調週間」(長野県)

12月1日～12月10日

今月の人権ポスター
中部小6年 都丸由美さん



とてもストレートで力強いメッセージが込められたポスターです。世界中の人たちが争や飢餓のない世界がやってくるのではないのでしょうか。

【問い合わせ】
教育委員会 生涯学習係

☎45・8695